

ナプロアース社長通信_第 19 回

新年が明けたと思ったら、いつの間にか 2 月が近づいています。本当に時間が経つのは早いものです。特に冬至が過ぎて、少しずつ夕暮れが遅くなっている事を感じさせてくれています。夕暮れが遅くなれば、私たちにとって生活しやすい春がもうすぐやって来ます。この話を基に物事の考え方について話をします。

人間には二通りのタイプがあると思います。冬は寒くて暗くてイヤだと気分が滅入るタイプの人と、もう少しで春がやって来ると先を見据えて楽しさを優先するタイプの人。物事の捉え方は人それぞれ違いますが、後者の方が試練の時でも乗り越えやすい思考を持っていると思います。人はかなり単純であり、少し見方や考えを変えるだけで幸せな気持ちになったり、不幸な気持ちになったりします。不思議だとは思いますが、同じ経験しても大きくは二通りに分かれるようです。

ある人から言わせればパチンコは「大きな音」・「タバコの匂い」・「狭いイスに何時間も座っている」とても窮屈で苦痛な空間ですが、一度大当たりすると、脳からドーパミン（快感を伝える脳内麻薬）があふれ出し、苦痛な空間だった事を忘れてしまいます。そのせいなのか負けが続いていても、ドーパミンを味わいたくて通ってしまうそうです。でも、ドーパミンを味わえなければ苦痛の場所ではしかありません。

それと似たような場面を実際の生活でも出くわします。いつも不満や不幸だと感じている人は、些細な幸せに気づかない。普通に食べて行ける事、両親が元気な事、子供や奥さんが元気な事を忘れ、現状では手に入らない夢ばかり追い求めてしまい、身近で現実的な幸せを疎かにしがちです。身近な幸せに気づくか気づかないか、それはあなた次第ではないでしょうか？考え方を少し変えるだけで、楽な気持ちになれる事が分かると、人生そのものの幸福感を味わいやすいのかも知れません。

雑談はこれくらいしておき、今までは世界経済の好景気状態が続き、求人倍率も上がり続けていましたが、ここ数ヶ月は急激に変化の波を感じるようになりました。ちょうど 10 年前のリーマンショック並みの不況がまた来るのでは？と巷で囁かれています。世界は経済活動を中心に繋がっているため、日本だけが影響を免れると言う事はありません。ニュースを見ている人は気が付いているかも知れませんが、中国とアメリカの対立・ロシアとアメリカの対立・EU 離脱を決めたイギリスと EU 諸国の関係悪化・日本と韓国の対立など、挙げればきりが無いほどの不安要素が広がってきています。

日本では高齢化社会を支えるため、社会保険料や厚生年金の個人負担額が少しずつ増額され、10 月からは消費税が 10%へとアップする予定です。私たちを取り囲む状況は好転の兆しが見いだせないままですが、少しの期待は今年 5 月からの「新元号」と、来年 7 月の「東京オリンピック」開催です。好景気が続くのか、不況へと転落するのか現時点は不明確です。その変化を知るためにも、新聞やテレビ、ネットでの情報など、あらゆるソースから情報を得られるようにしていきましょう。

新年が明けて 4 月中旬までは私たちにとっての繁忙期です。風邪を引かぬよう頑張ってください。

平成 31 年 1 月吉日 池本 篤